

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名 「広域的な地域クラスターに対する地域づくり支援に関する研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者 : 豊橋技術科学大学 建設工学系 教授 大貝 彰 (社) 東三河地域研究センター 常務理事 戸田 敏行	
意見の概要	意見に対する対応
<p>1. 県境抵抗を定量的に算出するという新しい試みを行っているが、その中の県境抵抗の変化に関する考察が、用語の意味が不明確なこともありわかりづらい。</p> <p>2. 県境抵抗の変化に関する分析で、数値を算出して定量的に差を示しているが、変化の要因は数値で絶対的に評価できるものではないため、結果の示し方を工夫した方が良いのではないか。</p> <p>3. 県境地域の地域特性として「歴史的つながり」をあげているが、指標として用いている同じ藩であったかという観点以外に流域圏や街道を介した歴史的つながりもある。これらについても言及が必要ではないか。</p> <p>4. 海外事例について、EGTCを我が国の県境に適用しようとする場合、どのように解釈されるのか。広域連合や一部事務組合といった制度が既にあり、それらとの関係で考察すべきではないか。</p>	<p>1. 県境抵抗の定量化は従来にない新しい概念であり、用語もこれまで定義されたものはないことから、用語の意味等が適切に理解出来るよう、定義等を追加した。</p> <p>2. 県境抵抗値の変化等について、具体的な数値ではなく、各都市間での相対的な評価にすることとした。</p> <p>3. 歴史的つながりとして、藩以外のつながりに関しても考察を追加した。</p> <p>4. 広域連合や一部事務組合の県境連携での適用状況等を踏まえたうえで、促進の参考となる制度として、EGTCを紹介する形で整理した。</p>